

寺内町の魅惑新聞

寺内町のきれいさを味わってみましょうか？



こんにちは。私たちは大阪大学の
メイプルプログラムの留学生です。
この記事では、大阪府の東南部にあ
る富田林の寺内町を紹介します。

寺内町で、訪問者は日本の伝統な
文化と歴史を経験できます。例を挙
げると、寺内町で戦国時代に建てら
れた街区が残っています。さらに、
木材からできていた江戸時代から作
られていた町屋があります。その
上、個人的なお勧めは興正寺別院で
す。お寺の内に付く襖の塗装はとて
もきれいでした。

また、寺内町ではたくさんのレス
トランとカフェでおいしい料理を食
べることができます。それに、様々
な店で家族か友達のためにお土産を
かうことができます。

制作者

大阪大学
留学生
アーヴェド
ソフィア

2026年

2月12日

寺内町の建築 の秘密は何でしょうか？



寺内町での散策の後、観光交流施設
きらめきファクトリーに働いている
赤崎さんとインタビューをしまし
た。町の伝統、文化、歴史について
教えてもらいました。赤崎さんによ
ると、寺内町は戦国時代にできまし
た。今も江戸時代から220軒ほど
残っているそうです。

今静かな雰囲気にあふれ
る寺内町は、昔非常に賑
やかでした。なぜかと言
うと、お酒と木綿の生産
があつたのです。興味深
い点は、寺内町の木綿は
京都へ運ばれて、現在の
滋賀県で大人気でした。

寺内町の建物も様々な
秘密があります。例え
ば、虫籠窓と言つことで
す。寺内町に素敵な形が
ある虫籠窓は同じものは
1つもないそうです。

素晴らしい屋根も詳し
く見ていきましよう。そ
れぞれの屋根には独自の
巴瓦があります。上にあ
る写真で水のパターンの
独特な巴瓦です。寺内町
に行ってみましよう！

